

平成27年度 全国学力・学習状況調査 葉山町の結果について（小・中学校）

葉山町教育委員会

目次

1 調査の概要

- (1) 調査の目的
- (2) 調査の方式
- (3) 集計児童・生徒及び学校数（葉山町立小・中学校関係）
- (4) 調査結果の解釈等に関する留意事項
- (5) 調査結果の見方



2 小学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

- (1) 全体の傾向
- (2) 国語
- (3) 算数
- (4) 理科

②【児童質問紙に関する調査の結果】

- (1) 自己肯定感に関わる内容について
- (2) 学校及び家庭生活に関わる内容について
- (3) 教科に関わる内容について

3 中学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

- (1) 全体の傾向
- (2) 国語
- (3) 数学
- (4) 理科

②【生徒質問紙に関する調査の結果】

- (1) 自己肯定感に関わる内容について
- (2) 学校及び家庭生活に関わる内容について
- (3) 教科に関わる内容について

1 調査の概要

平成27年4月21日に実施した「平成27年度 全国学力・学習状況調査」について、葉山町立小・中学校の児童・生徒の学力等の状況は、概ね次のとおりです。

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
(出典：平成27年度全国学力・学習状況調査に関する実施要領(文部科学省))

(2) 調査の方式 悉皆調査

- 【参考】 *平成19年度～平成21年度：悉皆調査
*平成22年度～平成24年度：抽出調査(※平成23年度は震災で中止)
*平成25年度～平成27年度：悉皆調査

(3) 集計児童・生徒及び学校数(葉山町立小・中学校関係)

○集計児童・生徒数

※4月21日に調査を実施した児童・生徒数

公立	葉山町	神奈川県	全国
小学校	307	約74,000	1,061,301
中学校	241	約66,000	1,016,737

○集計学校数

※4月21日に調査を実施した公立学校数

公立	葉山町	神奈川県	全国
小学校	4	855	20,005
中学校	2	415	9,691

※児童・生徒数及び学校数ともに、小学校は特別支援学校小学部、中学校は中等教育学校、特別支援学校中学部を含む。

(4) 調査結果の解釈等に関する留意事項

- 本調査の結果から見取れることとして、次のような点に留意する必要がある。
- ・実施教科が国語、算数・数学、理科の3教科であり、学習指導要領の全てを網羅するものではないことから、児童生徒が身につけるべき学力の特定の一部分であること。
 - ・年度により問題の質が異なるため、学力の向上・低下の傾向を正答率のみで容易に評価することは難しいこと。

(5) 調査結果の見方

* 全国の平均正答率(公立)の±5%の範囲内にあれば同程度と考える。
(出典：平成27年度全国学力・学習状況調査 報告書 平成27年8月 文部科学省)

(用語説明) ※ 平均正答率・・・平均正答数を百分率で表示。

○国語A、国語B、算数A・数学A、算数B・数学B、理科ごとの平均正答率は、それぞれの平均正答数を設問数で割った値の百分率(概数)。

○学習指導要領の領域、評価の観点、問題形式、設問ごとの平均正答率は、それぞれの正答児童・生徒数を全体の児童・生徒数で割った値の百分率。

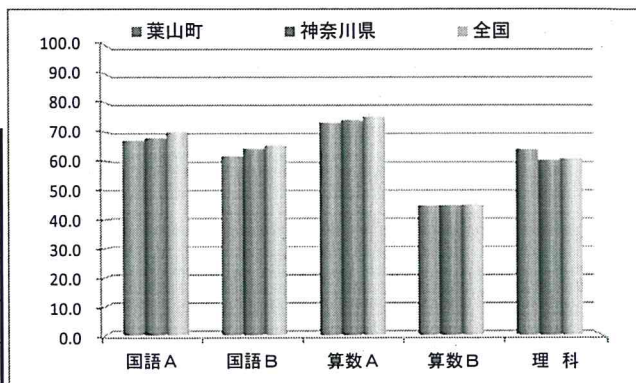
2 小学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

(1) 全体の傾向

【平均正答率 %】

	葉山町	神奈川県	全国
国語 A	67.1	67.9	70.0
国語 B	61.7	64.3	65.4
算数 A	73.3	74.0	75.2
算数 B	44.7	44.8	45.0
理 科	64.1	60.4	60.8



※A：主として「知識」に関する問題、B：主として活用に関する問題

- ・全科目の調査結果は、全国・県の平均正答率±5%の範囲内であるため、全国・県と比較してもほぼ同程度と考えられる。
- ・国語についてはA、Bともに多くの設問で無解答率が全国や県を上回っている。算数Bについてもその傾向がみられる。
- ・理科については全国・県に比べ数値が上回っており、全体的に良好な結果であると考えられる。

(2) 国語

結果の概要	国語A「主として知識に関する問題」では漢字の読み書きの正答率は比較的高いが、説明の文章の書き方の工夫を選択する設問や新聞のコラムを読んで表現の工夫を捉える問題などは解答率が低く、主語を正しく捉えることなどにも課題がみられた。国語B「主として活用」では特に記述式の解答率の低さがみられた。
話すこと 聞くこと	・話の内容に対する聞き方を工夫する設問について課題がみられた。
書くこと	・「具体的な事例を挙げて説明する文章を書くこと」については正答率が高い。 ・「目的や意図に応じて取材した内容を整理しながら記事を書くこと」や「目的に応じ、文章の内容を的確に押さえながら要旨を捉えること」、「文章と図とを関連付けて、自分の考えを書くこと」に課題がみられた。
読むこと	・「目的に応じ、中心になる語や文を捉えること」や「登場人物の行動を基にして、場面の移り変わりを捉えること」についてはほぼできている。 ・「登場人物の相互関係を捉えること」や「登場人物の気持ちの変化を想像しながら音読すること」については課題がみられた。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むこと」や「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書くこと」については正答率が高い。 ・「文の中における主語を捉えること」や「文を構成する主語と述語との照応関係を捉えること」「作品募集の案内の中から、必要な情報を読み取ること」などの設問で課題がみられた。

- ・相手の話の内容を十分聞き取るとともに、自分の考えをまとめることができるようにすることが必要である。
- ・目的や意図を明確にし、文章全体の構成の効果を考えて書くことを身に付けるための継続的な指導が求められる。
- ・目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けること、自分の考えを明確にしながら読んだり、優れた叙述について自分の考えをまとめたりする力を高めることが必要である。

(3) 算数

結果の概要	算数Aについては小数の計算は良好だが分数の計算で課題がみられた。算数Bについては割合や概数の問題で正答率が低い。記述式の問題について、正答率は全国や県を上回っているものもあるが、一方で無解答も目立ち、学習の定着の二極化がみられた。
数と計算	・小数の加法減法の計算や小数の大きさを表すことと繰り上がりのある2位数の加法の計算については正答率が高い。 ・分数の減法や除法の計算、四捨五入しておよその数にすること、概数を用いた見積もりなどの設問では課題がみられた。
量と測定	・角の大きさを捉えることや時刻を求める設問については比較的正答率が高い。 ・分度器を用いて角の大きさを求めることや、単位量当たりの大きさを求める設問で課題がみられた。
図形	・平行四辺形や正三角形の性質について、円の性質から角の大きさを求めることや展開図については半数以上の理解がみられた。 ・二等辺三角形の性質から底角の大きさを求めること、示された部分の面積を求めることなどの設問に課題がみられた。
数量関係	・グラフに表されている事柄を読み取ること、式で表現された数量の関係を図と関連付けて理解することは正答率が高い。 ・比較量と割合から基準量を求めること、割引後の値段の求め方についてはどちらも正答率が低く課題がみられた。

- ・分数の計算の仕方について定着を図ること、四捨五入の理解と合わせて概数の理解を図り、目的に応じて用いることができるようにすることが求められる。
- ・分度器を用いて角の大きさを求めること、図形の面積を計算によって求める活動を繰り返し行うことが必要である。
- ・日常生活の事象の解決に、割合や単位量当たりの大きさを活用して、合理的かつ適切に判断する学習を充実することが求められている。

(4) 理科

結果の概要	A区分、B区分ともにほとんどの項目で6割以上の児童が理解できており、全国や県の平均も上回っている。電磁石と磁石の性質やグラフを基にした考察の記述については課題がみられた。
A区分 物質	・振り子時計の軸に用いる適切な金属を選ぶ記述式の設問では課題がみられた。
エネルギー	・振り子時計の調整の仕方を調べる実験、振り子の運動の規則性の理解は正答率が高い。 ・電磁石と磁石が退け合うようにするための極の組み合わせを選ぶ問題では課題がみられた。
B区分 生命・地球	・生物の成長に必要な養分のとり方についての考察や顕微鏡の名称については正答率が高い。顕微鏡の操作方法についても半数近くが理解できている。 ・メダカの雌雄の見分け方についての理解は全国や県の平均を下回っている。 ・インゲンマメとヒマワリの成長の様子や日光の当たり方から、適した栽培場所を選び、理由を書く問題では半数以上の正答率がみられた。

- ・金属の温度による体積変化の様子を調べ、その性質について理解すること、また、電磁石の強さの変化を調べ電流の働きについての考えを持つ学習活動の充実が求められる。
- ・魚を育て観察することを通して、体の形状の違いにより雌雄を見分けられることを捉えること、また、顕微鏡の適切な操作技能に関する知識の定着を図ることが求められる。

②【児童質問紙に関する調査の結果】

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計より算出

(1) 自己肯定感に関わる内容について

質問紙より抽出	小学校		
	葉山町	神奈川県	全国
ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。	94.4	94.9	94.5
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。	77.7	75.9	76.4
自分には、よいところがあると思いますか。	77.5	75.7	76.4
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	59.5	51.7	51.2
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	89.8	92.6	92.9
将来の夢や目標を持っていますか。	82.7	85.4	86.5

- ・肯定的な回答、否定的な回答ともに、全国や県と本町との間に概ね大きな差はみられなかった。
- ・調査の結果から、児童の自己肯定感が比較的高く、物事に意欲的に取り組む姿勢がうかがわれる。
- ・友達とのコミュニケーションについては、自分の意見を発表することは得意であるが相手の話を最後まで聞くということについては、若干、課題がみられる。

(2) 学校及び家庭生活に関わる内容について

質問紙より抽出	小学校		
	葉山町	神奈川県	全国
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	82.7	80.1	79.5
家で、学校の宿題をしていますか。	95.7	96.5	96.8
学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがありますか。	90.2	85.9	86.1
地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。	70.2	65	63.9
5年生までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。	87.9	85.1	86.7
5年生までに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。	84.7	84.4	85.2

- ・家で学校の話をしている児童の割合が比較的高く、社会事象に対しても関心が高い傾向にある。
- ・宿題の取り組みについては、全国や県の状況と大きな差異はない。
- ・学校では意見を発表し合い、話し合う活動を通じた活動が行われており、達成感を感じる取り組みも体験することができる。

(3) 教科に関わる内容について

質問紙より抽出	小学校		
	葉山町	神奈川県	全国
国語の勉強は好きですか。	55.2	62.6	61.1
国語の授業の内容はよく分かりますか。	77.8	82.9	82
読書は好きですか。	65	70.8	72.8
国語の問題について全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力しましたか。	75.2	74.8	77.7
算数の勉強は好きですか。	63.1	66	66.6
算数の授業の内容はよく分かりますか。	78.1	79.9	81
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	82.3	78.3	79.1
理科の勉強は好きですか。	83.3	82.9	83.5
理科の授業の内容はよく分かりますか。	85.6	88	87.9
理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	76.8	73.1	76.1

- ・3教科ともに「勉強が好きですか」という問いに対しての回答は、全国を下回っている。
- ・授業の内容については7割以上がよく分かると答えているが、数値は3教科とも全国や県を下回っている。
- ・3教科ともに、課題への取り組みは概ね意欲的である。

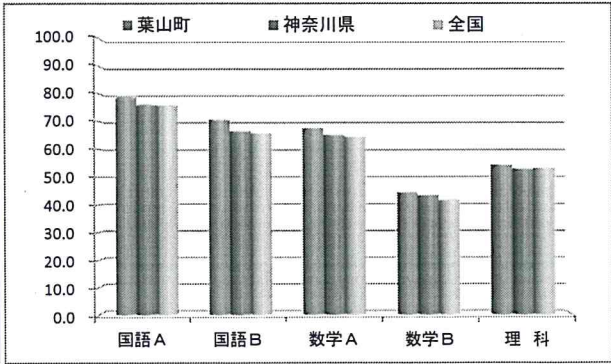
3 中学校に関する調査結果の概要

①【教科に関する調査の結果】

(1) 全体の傾向

【平均正答率 %】

	葉山町	神奈川県	全国
国語A	78.7	76.0	75.8
国語B	70.5	66.5	65.8
数学A	67.6	65.0	64.4
数学B	44.3	43.3	41.6
理 科	54.3	52.8	53.0



※A：主として「知識」に関する問題、B：主として活用に関する問題

- ・全科目の調査結果（全体的な傾向）は、全国・県の平均正答率±5%範囲内であるため、全国・県とほぼ同程度と考えられるが、数値は全科目において上回っている。
- ・国語Aは、全体として良好な結果である。
- ・国語と数学についてはA、Bともに多くの設問で全国や県と比べて解答率が高くなっている。
- ・理科については全国・県に比べ数値が上回っており、全体的に良好な結果であると考えられる。

(2) 国語

結果の概要	国語Aについては、基礎的・基本的な知識・技能の定着は図られている。国語Bについては、目的に応じて文章や資料から必要な情報を取り出しているが、それらを基にして自分の考えをまとめる点に課題がみられた。
話すこと 聞くこと	・「相手の反応を踏まえて話すこと」や「聞き手を意識し分かりやすい語句を選択して話すこと」、「必要に応じて質問しながら聞き取ること」については、正答率が高い。 ・「状況に応じて資料を活用して話すこと」、「効果的な資料を作成し、活用して話しをすること」については、正答率が高い。
書くこと	・「書いた文章を読み返し、語句の選び方や使い方を工夫して書くこと」については、正答率が高い。 ・「複数の資料から適切な情報を得て、自分の考えを具体的に書くこと」、「文章の構成や展開などを踏まえ、根拠を明確にして自分の考えを書くこと」については、課題がみられた。
読むこと	・「登場人物の心情や行動に注意したり、言動の意味を考え、内容を理解すること」や、「文章から適切な情報を得て、考えをまとめたりすること」については、正答率が高い。 ・「複数の本や資料から得た情報について、その内容を適切に読み取ること」については、課題が見られた。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	・「文脈に即して漢字を正しく読むこと」、「毛筆を用いて楷書で文字を書くこと」については、正答率が高い。 ・「単語の類別について理解すること」、「手紙の書き方を理解して書くこと」については、課題がみられた。

- ・本や資料などから得た情報について、適切に真意を読み整理する力を身につけさせるとともに、書かれている内容を自分と結びつけて考えられるように指導することが有効であると考えられる。
- ・自分の考えの根拠が明確に書かれているか、接続語の使用や段落構成などの工夫がなされているか、読み手に対してどの部分が根拠が分かるように示しているかなど、書いた文章を複数の観点から見直すよう繰り返し指導することが必要である。

(3) 数学

結果の概要	数学Aについては、基礎的・基本的な知識・技能の定着は概ね図られているが、空間における直線と平行の直線についての理解や証明の必要性と意味の理解については、課題がみられた。 数学Bについては、数学的な表現を用いて理由を説明したり、図形に着目して考察した結果を基に、問題解決の方法を図形の性質を用いて説明する点については、課題がみられた。
数と式	・比の意味や、加減乗除を含む正の数と負の数の計算、一次式の減法の計算について、正答率が高かった。 ・数量の関係を文字式に表したり、具体的な事象における数量の関係を捉えて、連立二元一次方程式をつくることについて、課題がみられた。
図形	・投影図から空間図形を読み取ったり、面の回転によって回転体が構成されることや平行線の同位角の意味、三角形の合同条件などについては、正答率が高かった。 ・「空間における直線と平面の垂直について」や、「証明の必要性と意味の理解を深めること」については、課題がみられた。
関数	・関数の意味やグラフを具体的な事象と関連付けて解釈することは、正答率が高かった。 ・「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理すること」、「その結果を事象に即して解釈すること」、「数学的な表現を用いて解釈した理由を説明すること」については、課題がみられた。
資料の活用	・資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がみられた。

- ・事柄や数量の関係を具体的な数や言葉を使った式を利用したり、数量を図に表したりして捉え、文字式に表す活動を充実させていくことが大切である。
- ・把握した事柄を前提と結論を明確にして、説明したり、記述したりする活動を取り入れていくことが有効であると考えられる。
- ・日常的な事象を数学的な解釈に基づいて考察し、事柄が成り立つ理由を説明できるように指導することが大切である。

(4) 理科

結果の概要	理科全体としては、県や全国の平均正答率とほぼ同等（±5ポイント以内）程度になっている。主な特徴として、実験の結果を分析して解釈し、規則性を見出したり、自らの考えや他者の考えを検討して改善することに課題がみられた。
第1分野 物理的領域	・「音の高さは『空気の部分の長さ』に関係していることを確かめる問題」について、葉山町全体の平均正答率（県・全国の平均正答率とはほぼ同等）も低くなっており、課題がみられた。
化学的領域	・実験の結果を表したグラフや実験の結果を言葉で記録した表を分析して解釈することについては、概ねできていた。 ・特定の質量パーセント濃度における水溶液の溶質と溶媒の質量と水の質量を求めることや、ある実験が正確に実施できなかった理由を根拠を持って説明する問題について、課題がみられた。
第2分野 生物的領域	・他者の考察を検討して改善し、課題に対して適切な考察を記述することについて、課題がみられた。
地学的領域	・「天気記号から風力を読み取ることができる」については、正答率が高かった。 ・他者の考察を検討して改善し、水の状態変化と関連付けて雲の成因を正しく説明する問題について、葉山町全体の平均正答率（県・全国の平均正答率とはほぼ同等）も低くなっており、課題がみられた。

- ・観察・実験の結果に基づき、多様な他者の考えを検討して自分の考えをより深めていくために、課題に対して適切な考察になっているか、視点を示した上で指導を行うことが必要である。
- ・自然の事物・現象の原因として考えられる複数の要因を基に、知識を活用して仮説を立て、それらを検証するための実験を計画する学習場面の充実が求められる。

②【生徒質問紙に関する調査の結果】

※数値は、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した割合の合計より算出

(1) 自己肯定感に関わる内容について

質問紙より抽出	中学校		
	葉山町	神奈川県	全国
ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか。	89.6	93.4	94.2
難しいことでも失敗を恐れずに挑戦していますか。	67.2	66.9	68.8
自分には、よいところがあると思いますか。	71.8	66.1	68.1
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	54.7	49.9	49.6
友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	89.7	91.7	93
将来の夢や目標を持っていますか。	69.3	69.6	71.7

- ・自己肯定感に関わる内容のうち「自分には、よいところがあると思いますか」については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答した生徒の割合が高い。
- ・「友達の前で自分の考えや意見を発表すること」については、県や全国と比べて数値が上回っていた。（全国より+5.1%）
- ・調査の結果から、日常生活や学習活動において、生徒同士の関わり合いが全体としては良好であるが、相手の話を最後まで聞くということについては、若干、課題がみられる。

(2) 学校及び家庭生活に関わる内容について

質問紙より抽出	中学校		
	葉山町	神奈川県	全国
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。	71.3	71.2	73.7
家で、学校の宿題をしていますか。	84.2	85.1	89.3
学級みんなで協力して何かをやり遂げてうれしかったことがありますか。	89.2	83.1	84.2
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。	55.6	52.3	55.9
1,2年生のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。	81.3	84.2	85.9
1,2年生のときに受けた授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。	75.9	74.6	78.2

- ・「家で、学校の宿題をしていますか」については、県や全国と比べて数値が下回っていた。（全国より-5.1%）宿題の取り組みについては概ね良好ではあるが、家庭と連携を図り、さらに、工夫・改善を図る余地がある。
- ・「学級みんなで協力して何かをやり遂げてうれしかったことがありますか」については、県や全国と比べて数値が上回っていた。（県より+6.1%、全国より+5.0%）学校行事など、仲間と協力して活動に取り組み、達成感を味わえていることがうかがえる。

(3) 教科に関わる内容について

質問紙より抽出	中学校		
	葉山町	神奈川県	全国
国語の勉強は好きですか。	64.3	61.2	60.5
国語の授業の内容はよく分かりますか。	81.3	75.2	74.3
読書は好きですか。	70.1	61.8	67.9
国語の問題について、解答を最後まで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	74.3	74.9	76.4
数学の勉強は好きですか。	52.7	57.2	56
数学の授業の内容はよく分かりますか。	74.3	73.5	71.6
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。	73.4	67.6	67.5
理科の勉強は好きですか。	64.7	58	61.9
理科の授業の内容はよく分かりますか。	69.3	64.4	66.8
理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか。	38.6	47.2	51.8

- ・「勉強は好きですか」という問いに対する回答は、国語・理科が全国や県を上回っているのに対し、数学が下回っていた。
- ・3教科ともに、授業の内容がよく分かっていると回答した生徒の割合が全国や県を上回っている。
- ・3教科のうち数学については、課題への取り組みは意欲的であるが、理科の説明問題については、早い段階であきらめてしまう傾向がうかがわれる。